

横浜市 浸水ハザードマップ (港南区)

浸水ハザードマップの使い方

「情報の入手方法と日頃からの備え」をご覧ください
浸水想定区域以外の方も、日頃から浸水に備えておくことが重要です。

あなたのお住まいや職場で浸水が発生するおそれがありますか？
[内水ハザードマップ] (下水道水路からの浸水)
[洪水ハザードマップ] (河川氾濫による浸水)
[高潮ハザードマップ] (高潮による浸水)の、浸水想定区域を確認しましょう。

[内水ハザードマップ] [洪水ハザードマップ]の浸水想定区域となっている方
⇒ [2] 内水氾濫と洪水 (河川氾濫) の発生についてをご覧ください。
[高潮ハザードマップ]の浸水想定区域となっている方
⇒ [3] 高潮の発生についてをご覧ください。

マイ・タイムラインを作成しよう
マイ・タイムラインとは、台風や大雨の水害等、これらに起こるかもしれない災害に対し、一人ひとりの家族構成や地域環境に合わせて、あらかじめ時系列で整理した自分自身の避難行動計画です。

横浜市 令和6年10月発行

1 情報の入手方法と日頃からの備え

ハザードマップを使って、お住まいの地域の危険度を把握し、適切なタイミングで避難行動を起こせるよう、日頃から情報収集をしましょう。

自動配信されるもの (PUSH型)

- 横浜市防災情報メール 要事前登録
あらかじめ登録したパソコン・携帯電話に防災情報等が配信されます。
- 防災アプリ 要事前登録
[Yahoo!防災速報]アプリをインストールしていただくことで、横浜からの防災情報等をスマートフォン等で受信できます。アプリをインストール
- 防災アプリ
[Yahoo!防災速報]アプリをインストールしていただくことで、横浜からの防災情報等をスマートフォン等で受信できます。アプリをインストール
- 防災アプリ
[Yahoo!防災速報]アプリをインストールしていただくことで、横浜からの防災情報等をスマートフォン等で受信できます。アプリをインストール

自身で情報収集するもの (PULL型)

- ホームページ 防災情報
横浜市防災情報 気象警報や河川の水位、潮位等を確認することができます。
- 防災情報ポータル
避難指示の状況及び避難所の開設状況を確認することができます。
- 降水ナウキャスト
現在の雨雲の動きや今後の動きを確認することができます。
- 横浜市民ページ (緊急情報)
- X (横浜市防災Twitter) @yokohama_saigai
- テレビ (tvk、ケーブルテレビ、データ放送など)
- ラジオ (コミュニティFMなど)

ハザードマップで自宅と避難場所を確認しよう

自宅付近が浸水したときにどのくらいの水深になるかを確認しましょう。
自宅から避難場所までの複数の道順や方向を、ハザードマップに書き込みましょう。
なお、災害の状況により、開設する避難場所は異なります (ハザードマップ参照)。避難する際は、市・区ホームページ等で開設している避難場所を確認してください。
地域では、このハザードマップを活用した訓練を行い、災害時の適切な行動につなげましょう。

避難時の持ち出し品を確認しよう

避難時の持ち出し品は日頃から準備し、すぐに持ち出せるようにしておきましょう。
持ち出し品はできるだけ少なく (ラジオ、飲料水、懐中電灯、医薬品、ペーパー用品、マスクなど)。また、リュックサックなど、両手があつくもに収まる程度にしましょう。
避難場所には食料、水、タオルなど、必要なものを持参しましょう。

側溝や雨水すを点検しよう

側溝や雨水すをふさがないようにしましょう。
雨水すの吸い込み口が落ち葉やごみで詰まると、道路浸水などの原因をお知らせします。
テレビ、ラジオ等から警報を受け、重要かつ緊急な災害情報を放送します。
状況に応じて、必要な地域へ広報車が出勤します。また、職員を派遣したり、消防局へリポートを自動で送信することもできます。

浸水に備えよう

家にあるもので浸水を防ぎましょう。土のうやプランター、家庭にあるごみ収集袋などを利用して水のうなどを使って浸水を防ぐことができます。
大雨の際には、洗濯機、トイレ、風呂場の排水口など思わぬところから水が逆流することがあります。排水口の水のうなどをふさぎましょう。
家庭でできる浸水防止対策の一例
ごみ収集袋 (5リットル) を二重にし、中に半分くらい氷を入れ、水のうを作ります。
水のうと長めの板などを組み合わせて、浸水を防ぎます。
プランターをならべ、レジャーシートで包み浸水を防ぎます。

避難の考え方

身の危険を感じる場合は避難を開始してください。

- 安全な場所へ避難 (水平避難)
避難場所が、近隣の商店街、土砂災害警戒区域外及び浸水想定区域外の地域 (等) の場合
- 建物内の少いでも安全な場所へ避難 (垂直避難)
建物内の少いでも安全な場所へ避難 (垂直避難)
避難場所が、近隣の商店街、土砂災害警戒区域外及び浸水想定区域外の地域 (等) の場合
- 近所へ声をかけあおう
高齢の方、子ども、障害のある方は避難に時間を要するため、早めの避難が必要である。地域の皆さんで協力し合って安全に避難しましょう。
- 安全な経路で避難しよう
河川氾濫や急傾斜地 (崩) などの危険を避けて避難しましょう。
大雨により、道路やマンホールの蓋が外れている場合があるため、橋渡しいかな十分に注意して、近寄らないようにしましょう。
- 地下街・地下施設の浸水は危険です
浸水の危険を感じる場合は、速やかに地上に避難しましょう。

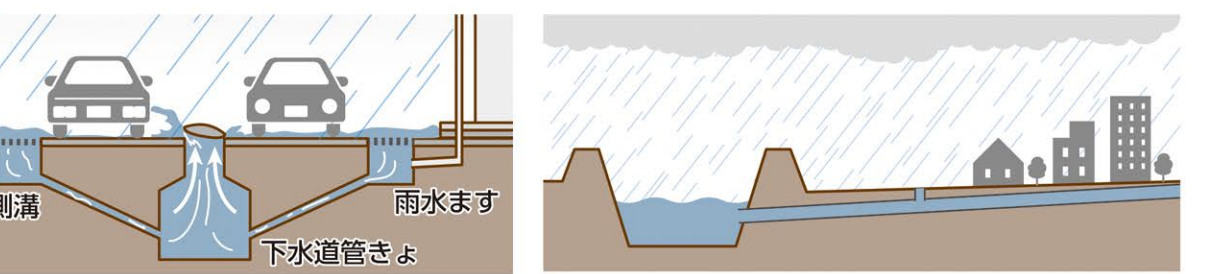
お問合せ先 (平常時)

お問合せ内容	取り扱い部署	連絡先
地域防災・避難等に関すること	港南区役所総務課	847-8315
人命救助・救急に関すること	港南消防署	844-0119
道路・下水道・公園に関すること	港南土木事務所	843-3711
備にすること	横浜市建築局建築防災課	671-2948
河川	国土交通省関東地方整備局横浜河川事務所	503-4000
市管理区域の河川に関すること	神奈川県横浜川崎治水事務所	411-2500
内水	横浜市下水道河川局管理課	671-2855
高潮	横浜市下水道河川局管理課	671-2838
洪水	神奈川県土木整備局河川建設グループ	210-6514
内水ハザードマップ全般について	横浜市総務局危機管理室地域防災課	671-2011
内水ハザードマップ全般について	横浜市下水道河川局管理課	671-2838

2 内水氾濫と洪水 (河川氾濫) の発生について



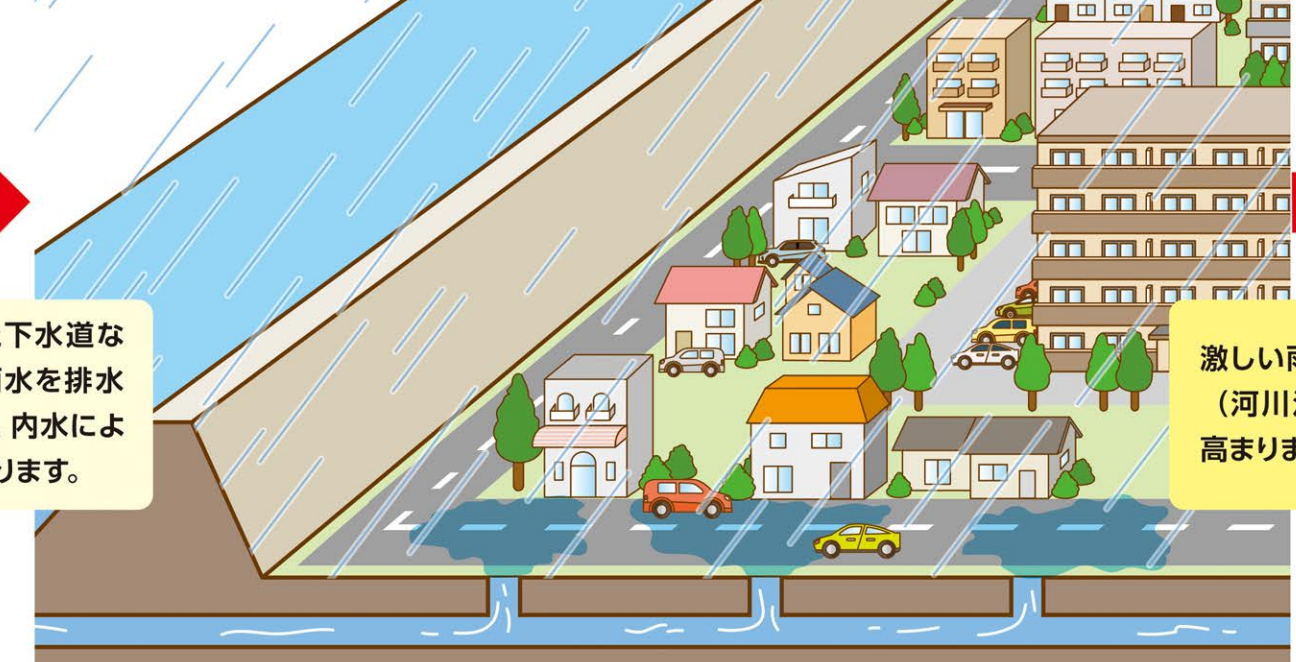
宅地に降った雨は雨水すへ、道路に降った雨は道路側溝などに集まり、下水道や水路等を通して河川に排水されます。



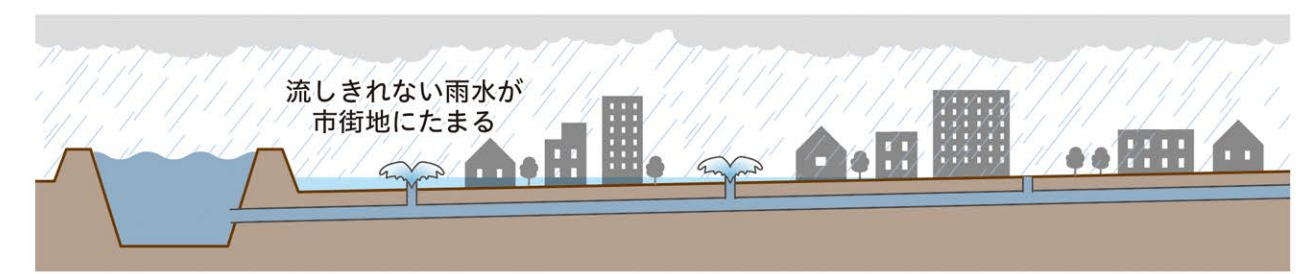
大雨のときはこんな点に注意しよう
集中豪雨に注意しよう 突如かつ局地の中量豪雨に備えて、ふだんからの様子をチェックしておきましょう。

- やや強い雨 1時間30-50mmの雨
周辺の建物や道路に浸水する可能性がある。
- 強い雨 1時間50-100mmの雨
周辺の建物や道路に浸水する可能性がある。
- 非常に強い雨 1時間100-200mm以上の雨
周辺の建物や道路に浸水する可能性がある。
- 猛烈な雨 1時間200mm以上の雨
周辺の建物や道路に浸水する可能性がある。

内水氾濫の発生



内水氾濫とは、雨の量が下水道などの排水能力を超えたり、河川などの排水先の水位が高くなったときに雨水を排水できなくなり、浸水することです。



想定降雨 1時間で153mmの降雨

内水ハザードマップとは?
内水氾濫によって想定される浸水区域や浸水深さの情報をまとめたマップです。また、この内水ハザードマップは、河川の堤防を越えて水があふれることも表現していますが、堤防の決壊は想定していません。洪水ハザードマップも併せてご覧ください。
横浜市では1時間あたりの雨量が50mm〜60mmに対応する下水道整備を進めています。内水ハザードマップは、下水道の能力を超える大雨に対して、市民の皆様の日頃からの備えや対策としていただくために作成したものです。

洪水 (河川氾濫) の発生



洪水 (河川氾濫) とは、大雨によって河川などの水位が上昇し、堤防を越えて水があふれたり、堤防の土砂が流出して決壊したりすることです。家屋の倒壊や流出など、大規模な被害を引き起こします。



想定降雨 境川水系：24時間で632mmの降雨 大岡川水系：24時間で332mmの降雨

洪水ハザードマップとは?
洪水 (河川氾濫) によって想定される浸水区域や浸水深さの情報をまとめたマップで、浸水が想定される区域の標高に連動して避難したために作成したものです。
河川上流域でのみ雨が降っている場合など、雨の降り方によっては、内水氾濫より前に洪水 (河川氾濫) が発生することもありますので、気象情報や河川水位にご注意ください。

避難情報がでたら

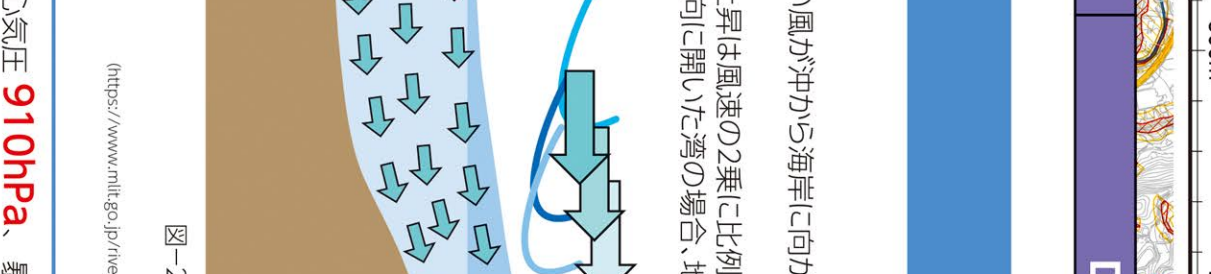
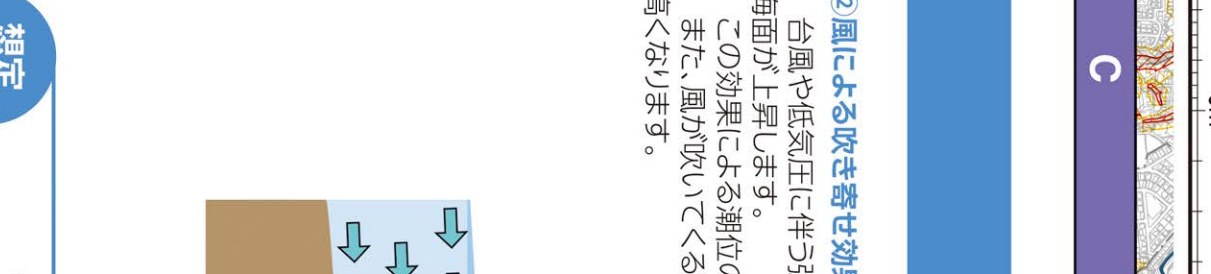
身の危険を感じる場合は避難を開始してください。
(1)情報の入手方法と日頃からの備えの「避難の考え方」もお読みください。

警戒レベル	とるべき行動	避難情報 (横浜市)	警戒レベル相当情報
警戒レベル5	【命の危険 直ちに安全確保!】 ●災害が発生・切迫しており、命を守るための緊急の行動をとる。	緊急安全確保	大規模特別警報等 氾濫発生情報
警戒レベル4	【危険な場所から全員避難】 ●直ちに身の安全を確保できる場所へ避難する。 ●避難場所までの移動が危険と思われる場合は、避難場所までの移動を中止し、自宅内の安全な場所へ避難する。	避難指示	土砂災害警戒情報等 氾濫危険情報
警戒レベル3	【危険な場所から高齢者等は避難】 ●避難に時間がかかる人に高齢者の方、障害のある方、高齢者の方との避難は、避難場所へ避難を開始する。 ●その他の人は、家族などとの連絡、持ち出し品の確認など、避難の準備を開始することにより、危険な場所から避難する。	高齢者等避難	大規模警報等 氾濫警戒情報
警戒レベル2	【自らの避難行動の確認】 ●避難に備え、ハザードマップ等より自らの避難行動を確認する。 ●避難情報の把握と、避難手段の確認をする。	-	大規模注意情報 氾濫注意情報
警戒レベル1	【災害への心構えを高める】 ●防災気象情報等の最新情報に注意する。	-	早期注意情報

3 高潮の発生について

高潮とは

台風や低気圧が通過する際、潮位 (海面の高さ) が上昇し、海水が海堤に吹き寄せられ、海面上昇の圧力がかかる。この圧力がかかることで、海面上昇し、海水が海堤を越えて、陸地に浸水する。高潮は、主に低気圧による海面の上昇と、地形や海面上昇が原因で発生しやすくなります。

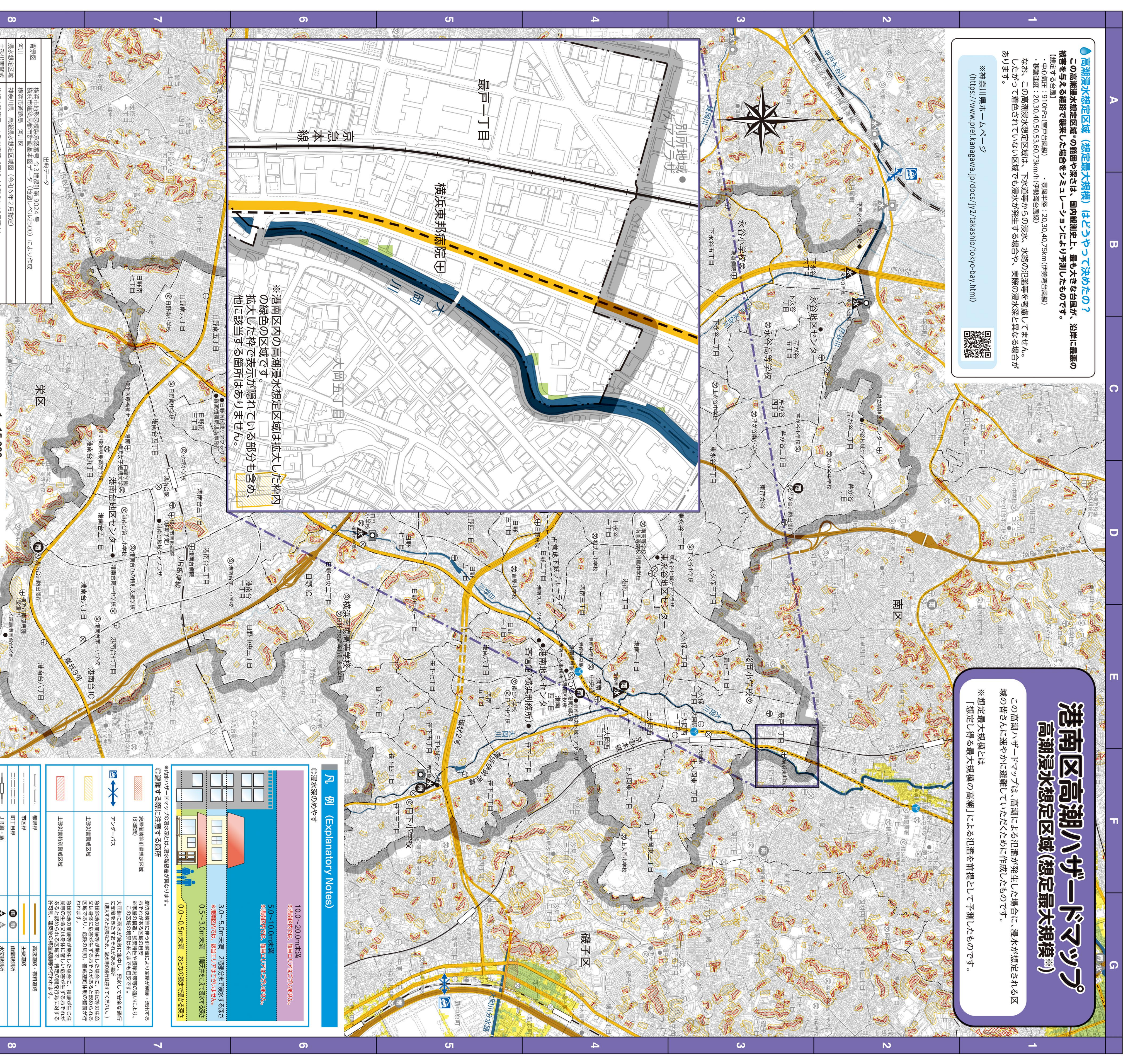


想定条件
中心気圧 910hPa 暴風半径 20.30.40.75km、
移動速度 20.30.40.53.60.73km/hの台風

避難情報がでたら

身の危険を感じる場合は避難を開始してください。

警戒レベル	とるべき行動	避難情報 (横浜市)
警戒レベル5	【命の危険 直ちに安全確保!】 ●災害が発生・切迫しており、命を守るための緊急の行動をとる。	緊急安全確保
警戒レベル4	【危険な場所から全員避難】 ●直ちに身の安全を確保できる場所へ避難する。 ●避難場所までの移動が危険と思われる場合は、避難場所までの移動を中止し、自宅内の安全な場所へ避難する。	避難指示
警戒レベル3	【危険な場所から高齢者等は避難】 ●避難に時間がかかる人に高齢者の方、障害のある方、高齢者の方との避難は、避難場所へ避難を開始する。 ●その他の人は、家族などとの連絡、持ち出し品の確認など、避難の準備を開始することにより、危険な場所から避難する。	高齢者等避難
警戒レベル2	【自らの避難行動の確認】 ●避難に備え、ハザードマップ等より自らの避難行動を確認する。 ●避難情報の把握と、避難手段の確認をする。	-
警戒レベル1	【災害への心構えを高める】 ●防災気象情報等の最新情報に注意する。	-



凡例 (Explanatory Notes)

浸水想定区域の水深

- 10.0〜20.0mm未満
- 20.0〜30.0mm未満
- 30.0〜40.0mm未満
- 40.0〜50.0mm未満
- 50.0〜60.0mm未満
- 60.0〜70.0mm未満
- 70.0〜80.0mm未満
- 80.0〜90.0mm未満
- 90.0〜100.0mm未満
- 100.0mm以上

避難する際の注意

- 避難経路の確認
- 避難場所の確認
- 避難手段の確認
- 避難行動の確認

港南区高潮ハザードマップ (想定最大規模)

この高潮ハザードマップは、高潮による浸水が発生した場合に、浸水が想定される区域の浸水想定区域を想定して作成したものです。
※想定最大規模とは、想定される最大規模の高潮による浸水想定区域を指します。